

## 日本医業経営コンサルタント連盟だより No.13

令和8年 4月 吉日

早春の候、会員の皆様方に於かれましては、ご健勝にお過ごしのことと拝察いたします。

さて、去る3月23（月曜日）に協会本部にて顧問・相談役会が開催されました。当日は、午前11時より協会業務執行理事全員と当連盟木村会長はじめ顧問・相談役10名が出席して開催されました。

はじめに協会川原会長が挨拶し、協会の魅力向上、厚生労働省の事業受託、医業経営コンサルタント学会での講演実現、診療報酬改定活動などの成果の報告がありました。つづけて令和8年度事業計画案・予算案、その他協会事業に関する説明の後、意見交換に移り当連盟木村会長が発言し、以下のように述べられました。

「執行部による協会の発展と運営への取り組みに敬意を表します。

日本医業経営コンサルタント連盟では、現在、衆議院議員 8 名及び参議院議 9 名の計 17 名の議員を推薦して活動しています。

医療勤務環境改善支援事業については、2013 年に医療法の改正に併せて、当協会の医業経営コンサルタントの活動の必要性が明記された経緯もあります。医療機関の経営がさらに厳しくなっている現在、認定登録 医業経営コンサルタントがより活躍できる場があるはずであり、連盟との協力関係がパワーアップしていけるとよいと思っています。また、行政のプロポーザルにおいても、建築関係だけではなく幅広い分野で、特に支部長レベルでも地方自治体に声をかけられるようにできると良いと思っています。

連盟では、昨年 7 月に執行された参議院議員通常選挙において4名の方々を推薦し、残念ながら武見敬三先生が落選されましたが、他3名は当選されました。武見先生に於かれましては、当連盟の単独インタビューにご対応いただいたことに大変感謝しております。このことは、連盟だよりNO12に掲載しております。また、本年2月に執行された衆議院議員選挙においては8名を推薦し、全員が当選されました。前回選挙で残念ながら落選された橋本岳先生が見事復活当選されたことは大変嬉しく存じております。」と発言して連盟の活動状況を披露しました。また、自治体の行うプロポーザルに「認定登録医業経営コンサルタント」の個人と法人について建設分野だけでなく経営改善等の分野においても募集要件に「認定登録医業経営コンサルタント」が明記されるよう協会から文書で要求していただきたい旨を要望しました。

翌週の3月30日(月曜日)に連盟理事会がWebにより開催されました。出席者9名、委任状提出者9名で理事総数23名中18名の出席を得て適法に開催されることを確認した後、木村会長の開会あいさつにより開始されました。

会長挨拶の後、次第に従って定期総会へ上程する議案（地区別会員数報告、前年度事業報告（案）、次年度事業計画（案）、次年度収支予算（案）について審議され、全会一致で承認され総会議案として上程されることとなりました。

その中で会費の納入状況について77名の会員が未納入の状況となっており、今後会費納入についての督促メールを配信の上で未納入の会員にはハガキでの督促を行うこととなりました。

第6回の定期総会は、令和8年5月29日金曜日 14時より Web にて開催すること

が決まりました。

続いて入会促進のための活動については、支部における会議等において支部長の許可を得て会議の中で連盟の活動内容について連盟だよりをツールとして入会案内をすることとしました。

行政文書への「認定登録医業経営コンサルタント」名称の掲載の件については、連盟からの推薦議員等への説明要望文書の一つとして「平成26年10月1日付 医政総発1001 第1号 各都道府県衛生主管部（局）長 宛 厚生労働省医政局総務課長」通知に記載されている内容をまとめたペーパーを作成して持参できるようにすることとしました。



顧問・相談役会における木村会長発言の一コマ



理事会の様子